

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名： 県土整備部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 北勢中央公園 (四日市市西村町地内)
指定管理者の名称等	株式会社名阪造園 代表取締役 田中清平 (四日市市野田2丁目5-23)
指定の期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務 ・公園の利用者への案内に関する業務 ・条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限 ・公園施設のうち野球場、テニスコートの利用の許可 ・公園の利用の促進 ・その他の業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H30	B		植物管理や公園施設の管理を適切に行った。 また、生物調査に基づく苗木の育成や植栽の実施、枝葉など副産物の再生利用（堆肥化、チップ化）など、特色ある取組を行った。
R1	B		
R2	B		
R3	B		
R4	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H30	B		公園ホームページやSNSを活用した情報発信を行うとともに、感染症対策を行った上でフォトコンテストなどのイベントを開催し、公園の利用促進に努めた。
R1	B		
R2	B		
R3	B		
R4	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況（全期間）

収入の部		支出の部	
指定管理料	311,901,640	事業費	203,747,743
利用料金収入	44,756,090	管理費	154,031,723
その他の収入	3,445,895	その他の支出	0
合計 (a)	360,103,625	合計 (b)	357,779,466
収支差額 (a)-(b)	2,324,159		

※参考

利用料金減免額	実績なし
---------	------

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値
H30	B		利用者数	235千人	240,585				
R1	B		利用者数	235千人		238,793			
R2	C	+	利用者数	235千人			215,169		
R3	D	+	利用者数	235千人				177,234	
R4	D	+	利用者数	235千人					175,803
全期間におけるコメント									
<p>平成30年～令和元年度は順調に成果目標を達成した。</p> <p>しかし、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で公園利用者数が減少したことから、成果目標を達成できていない。しかし、集客が困難である中でも感染防止対策を徹底してイベントを実施するなどし、最大限集客に努めたことが認められることから、令和2年度～4年度の県の評価は、定量的な基準で導き出された指定管理者による自己評価よりも高く評価した。</p>									

6 総括評価

●申請内容や選定理由とした取組等に対する評価、指定管理期間中の特色ある取組

指定管理者が造園の専門業者であることを最大限活かし、地域性苗木を用いた里山環境の構築など、公園の特性を生かした景観形成・植物管理が行われた。

●事故や他府県、他施設における事件等への対応状況

自動販売機荒らしや管理事務所への空き巣被害などが発生したが、管轄する建設事務所と連携して、適切に対応された。

●県が実施したモニタリングの結果（県民ニーズの把握や、コスト削減の取組など）

県が求める水準を満たしていると認められる。

●各年度評価の活用状況に対する評価

指定管理者・建設事務所・都市政策課の三者で定期的を実施する「公園管理運営会議」と「利用促進運営会議」でフィードバックし、管理運営に活かされている。

●今回の指定管理者による管理の課題及び次期指定期間における改善状況

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度以降は成果目標を下回る結果となった。令和5年度以降も同じ指定管理者が管理運営を担うが、過去に恒例だったイベントの復活や、今まで未利用だった夜間帯のイベント開催を行うことで、公園利用者の回復に努めている。

これらのことから、新型コロナウイルス感染症の影響という予想できない事情で成果目標の達成状況は厳しいものとなったが、管理運営に関して民間のノウハウを最大限に活用し、指定管理者制度導入の目的であるコスト縮減と住民サービス向上を両立した運営がなされたと評価する。